

Nikon

オート接写リング PK-11A/12/13

Auto Extension Ring PK-11A, 12, 13

Automatik-Zwischenringsatz PK-11A, 12, 13

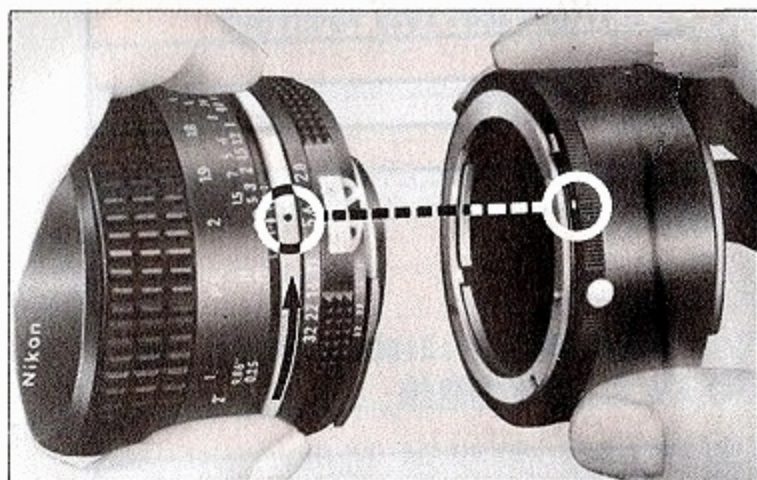
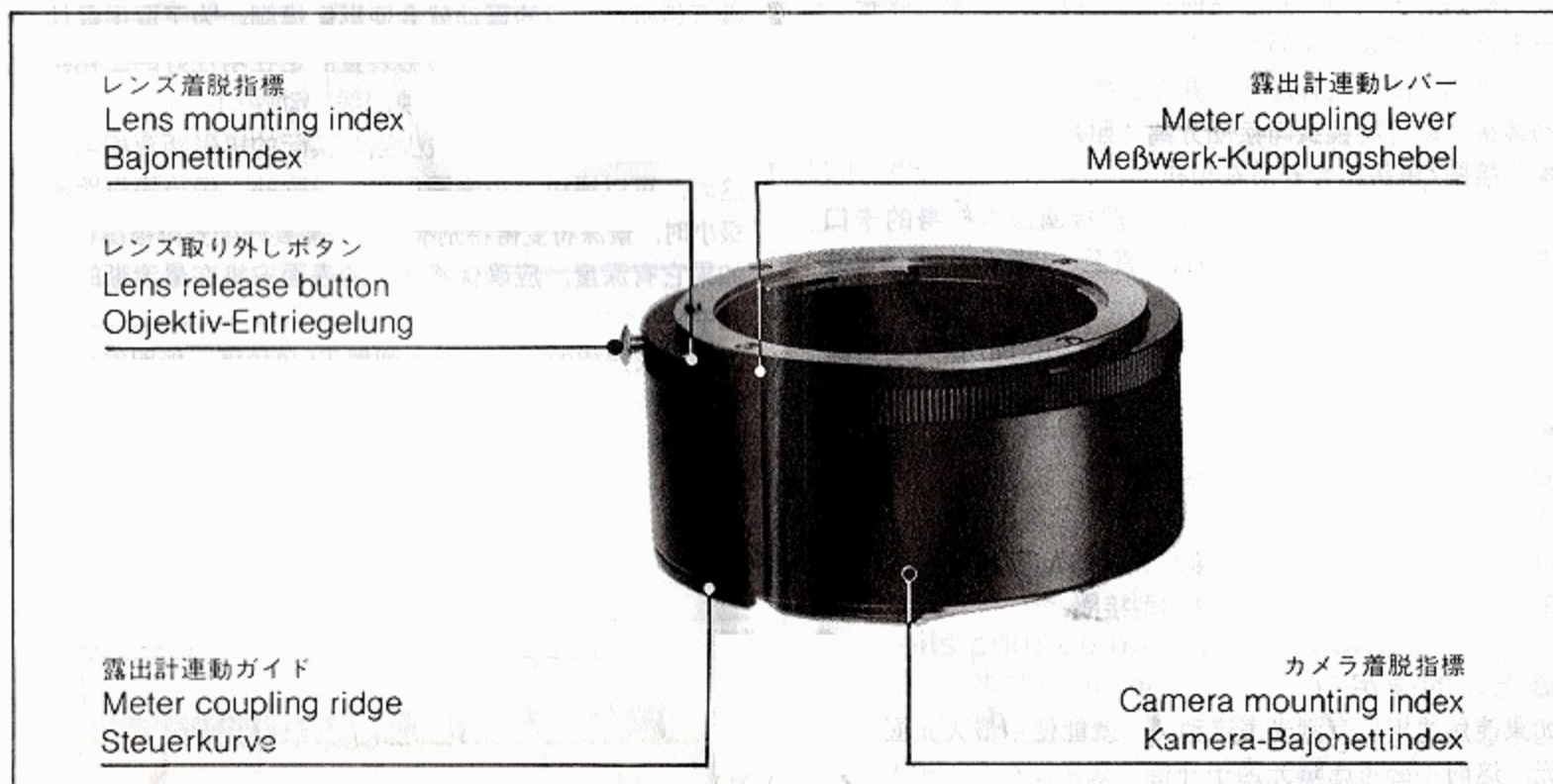


写真 1 Photo 1 Bild 1

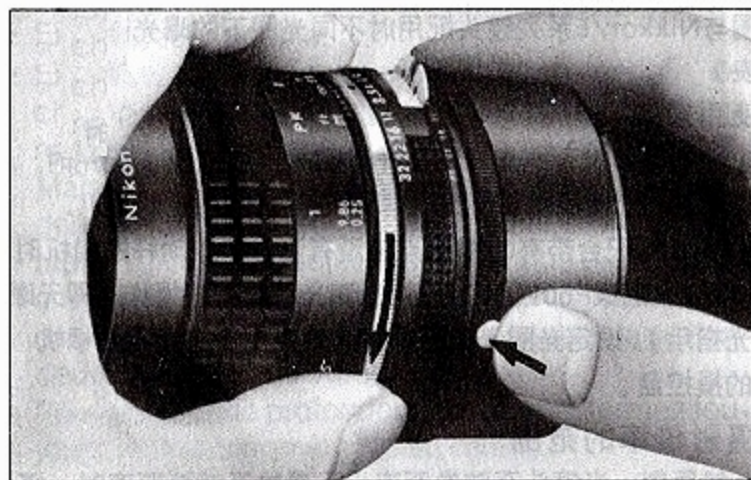


写真 2 Photo 2 Bild 2

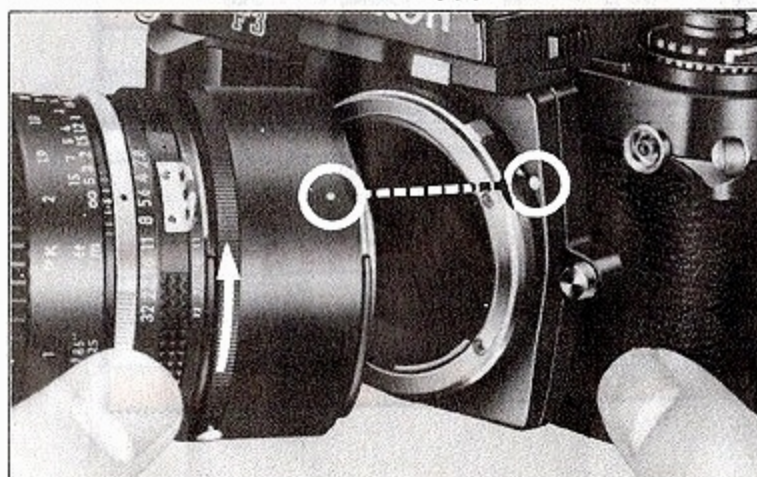


写真 3 Photo 3 Bild 3

株式会社 **ニコン**
 NIKON CORPORATION Tokyo, Japan

オート接写リングPK-11A、12、13は、焦点距離20～300mmまでのAI方式（開放F値自動補正方式）のニッコールレンズおよびシリーズEレンズ専用の接写リングです。それぞれ長さが異なっており、単体および組み合わせにより、7種類の伸長が得られます。

組み合わせは自由で、しかもどのように組み合わせても自動絞りと露出計の連動が可能です。撮影目的に応じた最適な組み合わせでご利用ください。

レンズの取り付け(写真1)

レンズの絞り指標とリングのレンズ着脱指標を合わせ、レンズ鏡筒（AFニッコールレンズの場合）や着脱リング（AFニッコール以外のAI方式レンズの場合）を持ち、反時計方向へ制限いっぱいまで回します。

レンズの取りはずし(写真2)

リングのレンズ取り外しボタンを押しながら、レンズ鏡筒（AFニッコールレンズの場合）や着脱リング（AFニッコール以外のAI方式レンズの場合）を持ち、リングのレンズ着脱指標とレンズの絞り指標が合うまで時計方向回すとはずれます。

カメラボディへの取り付け(写真3)

リングのカメラ着脱指標をカメラボディのレンズ着脱指標に合わせ、レンズ鏡筒（AFニッコールレンズの場合）や着脱リング（AFニッコール以外のAI方式レンズの場合）かリングのローレット部を持って、反時計方向へ制限いっぱいまで回します。

カメラボディからの取りはずし

カメラボディのレンズ取り外しボタンを押しながら、レンズ鏡筒（AFニッコールレンズの場合）や着脱リング（AFニッコール以外のAI方式レンズの場合）かリングのローレット部を持ち、カメラボディのレンズ着脱指標とリングのカメラ着脱指標が合うまで時計方向に回すとはずれます。

リング取り付け上のご注意

- 露出計連動レバーがハネ上げ式のAI方式カメラボディに取り付けるときは、露出計連動レバーが正しい位置にあることを確認してください。（詳細はカメラボディの使用説明書をご参照ください。）
- このオート接写リングは、AI方式以外のレンズには装着できません。AI方式以外のレンズには、PK-1、2、3リングをご利用ください。また、AI方式以外のカメラボディに装着した場合、測光方式は絞り込み測光となります。

リングの組み合わせ

レンズおよびカメラボディとの取り付け、取りはずしと同じ方法で、PK-11A、12、13を組み合わせることができます。組み合わせ順序は目的に応じて自由に行えます。

組み合わせ		伸長(mm)
A	PK-11A	8
B	PK-12	14
C	PK-11A+PK-12	22
D	PK-13	27.5
E	PK-11A+PK-13	35.5
F	PK-12+PK-13	41.5
G	PK-11A+PK-12+PK-13	49.5

撮影倍率の求め方

撮影倍率は被写表から大体求めることができます。正確な値が必要な場合には、被写体の位置に1mm刻みの物指しを置き、カメラボディのファインダーを通して長手方向に何mmまで読み取れるかを見ます。この読み取り値でフィルム長手方向の寸法36mmを割れば、撮影倍率(M)が求められます。

$$M = \frac{36}{\text{長手方向の読み取り値(mm)}}$$

例：読み取り値180mm

$$M = \frac{36}{180} = \frac{1}{5} = 0.2$$

※ニコンF3シリーズ、およびF・F2系以外のカメラボディでは、計算で出てきた倍率に、さらにファインダー視野率をかける必要があります。

露出の決め方

- ①AI方式のカメラボディの場合
（F5、F100、F4、F3、F90X、New FM2、F70Dなど）
開放F値セットの操作なしで開放測光が可能です。
- ②AI方式の以外のTTL露出計内蔵カメラボディの場合
（F2フォトミック、ニコマートFT2、ELなど）
絞り込み測光で露出を決めます。（詳細はカメラボディの使用説明書をご覧ください。）
- 露出計連動レバーのないCPU方式のカメラ（F60、F50など）との組み合わせではカメラの露出計は使用できません（表示も出ません）。またカメラの絞りダイヤルでは絞りをセットすることができません。この場合はレンズの絞りリングで絞りをセットしてください。
- ③TTL測光ではない場合
ニコンFフォトミック、ニコンメーター、あるいは一般の単独露出計を使用する場合、撮影倍率に応じて、露出倍数を考慮しなければなりません。露出倍数は接写表から大体求めることができます。

ご注意

- ①一般にレンズの性能は絞るほど良くなります。
- ②接写のときは撮影距離が短くなり、被写界深度が浅くなります。そのため、できるだけ絞って撮影してください。
- ③カメラブレを防ぐためには、しっかりとした三脚を用い、シャッターボタンは、必ずケーブルリリースで押すようにしてください。

仕様

使用カメラ ニコンFマウントのカメラボディ

使用レンズ 焦点距離20mm～300mmまでのAI方式のニッコールレンズおよびシリーズEレンズ

撮影倍率 50mmF1.4Sレンズ使用の場合

1/6.4(PK-11Aのみ)～1.1X(PK-11A、12、13を組み合わせたとき)

各リングの大きさと重さ

リング	伸長	全長	最大径	重さ
PK-11A	8mm	17.0mm	64.4mm	約50g
PK-12	14mm	23.0mm	64.4mm	約75g
PK-13	27.5mm	36.5mm	64.4mm	約100g